

# 教えて！情報モラル 【無料ゲーム編】



岐阜県教育委員会 教育研修課

子どもたちが自分用に携帯電話を持ちたがる理由の一つとして、「無料ゲームで遊びたい」があげられます。たくさんの種類から好きなゲームを選ぶことができ、また携帯電話ならではの通信機能を活かした仲間と協力して遊ぶゲームも豊富です。ゲームで遊ぶこと自体には問題はありませんが、利用の仕方によってはトラブルに発展する要因を含んでいます。

## 【無料ゲームって本当に「無料」？】

PCや携帯電話でのゲームを料金に着目して大きく分類すると次のようになる。

### 定額課金制

#### 有料 (月額・一括)

ユーザーが月額または一括支払いにより、利用料金を支払うことでプレイ可能期間を購入する制度



有料  
ゲーム

### アイテム課金制

#### 無料 (基本プレイ)

#### 有料 (アイテム等)

基本プレイ料金は無料であるが、ゲーム内に登場する追加アイテム等は有料で購入する制度



無料  
ゲーム

### 完全無料制

#### 無料

企業等がテストや宣伝、会員拡大などを目的としてサービスを無料で提供する制度



上記のように無料ゲームと呼ばれるものには、どのように遊んでも一切料金がかからないものと、一部の範囲が有料となるものがある。「アイテム課金制」のように基本プレイ部分が無料の場合は、「完全無料制」と同様に一般に「無料ゲーム」と呼ばれている。また、ゲームを行う際には会員登録が必要なものと不要なものがある。



特に「アイテム課金制」のサービスを子どもが利用する場合、すべてを「無料」と思い込んだり、「有料」とわかっていてもゲームをさらに進め、思いもよらぬ多額な利用料が発生したりすることがある。このようなゲームは、無料部分でゲームの基本的な楽しさを味わえると共に、さらに有料アイテムを使ってゲームをやってみたくなるように作られていることが多い。(試食や試供品と同じようにとらえるとわかりやすい。)このような料金体系の仕組みをよく理解して、サイトを選択しゲームを行うことが大切である。

子どもたちには、「一部有料である」という知識を知らせるだけでなく、下図のようなイメージを実感できるような指導が必要である。そのためには、サービスや契約等の仕組みを理解させると共に、自分自身の行動をコントロールできる「知恵」と「心」を磨くことが大切である。

無料 (基本プレイ)

有料 (アイテム等)

## 【無料ゲームに夢中になって、「無料」では遊べなくなる子どもの心を知ろう！】

無料ゲームは、有料のアイテムやオプションを購入しなくても地道にゲームを続ければ、無料のまま楽しむことができる。しかし、ついつい夢中になって課金されてもゲームを進めたくなくなる子どもの気持ちを理解しよう。

ゲームに勝ちたい！

### 有料アイテムの効果

有料のアイテムを使って、ゲームを進めると、通常では困難なイベントをクリアできたり、短い時間でレベルアップしたりできる。通信機能で「大会」に参加したり、「成績順位」が表示されたりすると、よりよいアイテムを持っている人が有利となる。また、数量限定のアイテムを持っているとそれだけで自慢できる。

いつでもどこでも  
ゲームがしたい！

### 短時間で何度も、リアルタイムに

携帯電話でのゲームは、空き時間や移動時間を使って、短時間で何度も行えるものが多い。また、「先着順」「リアルタイムのゲーム進行」「期間限定の大会」などにより、常にゲームをしたいという気持ちになる。

みんなが持って  
いないものを！

### コレクション

獲物・作物・ペット・モンスターなどをコレクションするゲームがある。いろいろな種類・大きさのものを効率よく集めるには、有料のアイテムが必要となる。

またアバター（ネット上の自分の分身）を着飾ったり、部屋を飾ったりするためには、無料アイテムのみでは他の人と同じになってしまい、自分らしさが表現できない。

高くないから  
買ってみよう！



### アイテム等の料金

一つ一つのアイテムの料金は、数十円から 1000 円、2000 円程度。子どものお小遣いで少しずつ買える料金設定。

友だちと一緒に  
遊びたい！

### 仲間と力をあわせて・・・

通信機能を使って、友だちと協力したり、対戦したりするゲームが増えている。チームで遊んでいる場合、自分だけゲームに参加しないと仲間はずれにならないかと心配になる。

次のゲームやステージに進むために課金が必要なものもあるが、夢中になると途中でなかなかやめられない。

また、ゲーム内で知り合った人とアイテムを交換したり、プレゼントしたりすることもできるゲームもある。


「無料」だから  
いいでしょ！

**無料**

### 「無料」の誘惑

有料アイテムを購入しなくても、時折よいアイテムが無償でプレゼントされることがある。また無料のくじをひいて当たったり、友だちを会員に紹介したりするとアイテムやゲームのポイントがゲットできる。

無料でもらったアイテムを一度使うと、ゲームを有利に進められるので、アイテムのよさを実感する。しかし、アイテムには使用制限があって、やがて使えなくなるので、よいアイテムがより一層欲しくなる。

 料金を支払って、ゲームを楽しむこと自体に問題はなく、単に「無料」ならば「○」、「有料」ならば「×」という指導は行わない。

近年児童生徒が、他人のIDやパスワードを使ってアイテムを盗んだり、交換を持ちかけておいて一方的に搾取したりする事例が増えている。これらは犯罪行為にあたるが、子どもたちの罪意識は低い。料金を払うことはできない状況であるのに、どうしてもアイテムが欲しいという気持ちがそのような行為を生み出している。具体的な場面を通して、「情報社会の倫理」「情報セキュリティ」「法の理解と遵守」について指導したい。